



バルブ

減圧バルブ



米国特許第
6,581,628号
5,931,182号

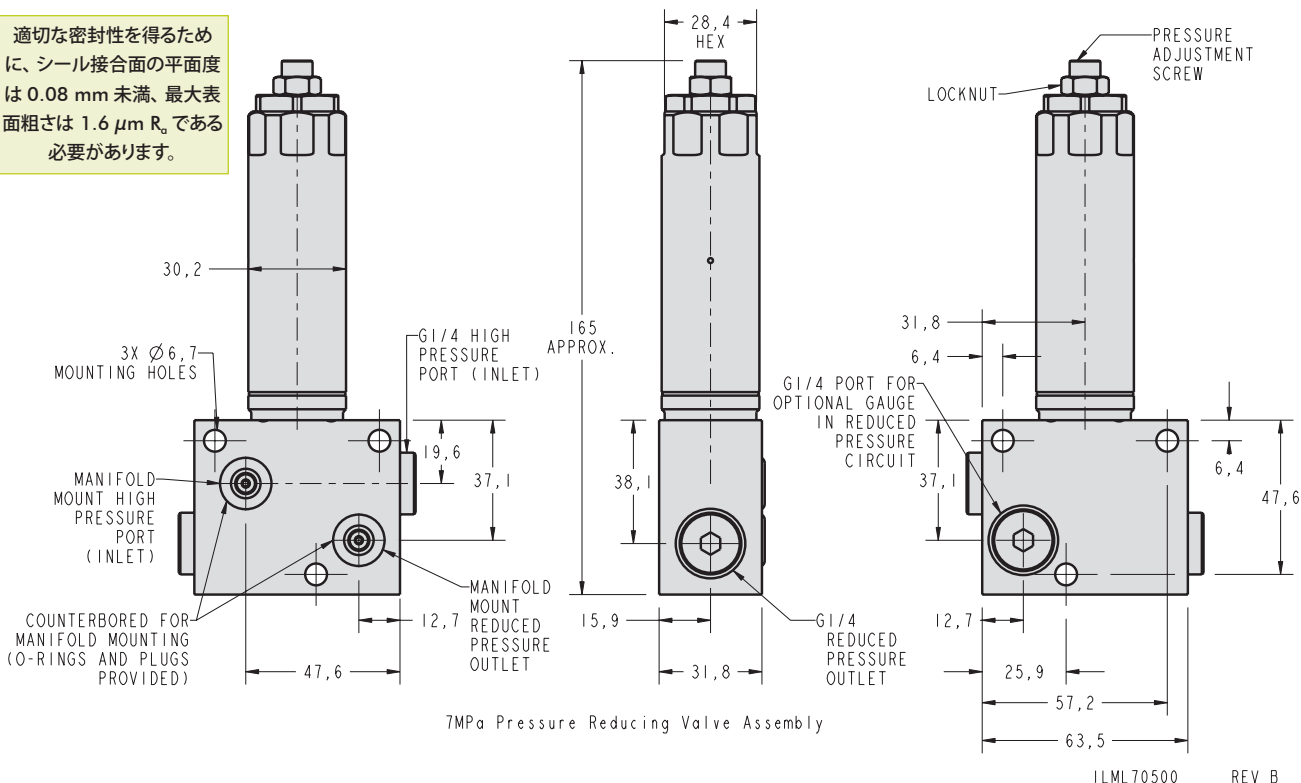
減圧バルブ

モデル番号	L7-0512-00
減圧バルブ	アセンブリ
設定圧力範囲	1.0 MPa (10 bar) to 6.2 MPa (62 bar)
システム圧力	20 MPa (200 bar)

注：最大システム流量は 5.7 l/分です
(特に指定していない限り)。

過大な流量を使用すると、保証が無効になります。

適切な密封性を得るために、シール接合面の平面度は 0.08 mm 未満、最大表面粗さは 1.6 μm R_a である必要があります。

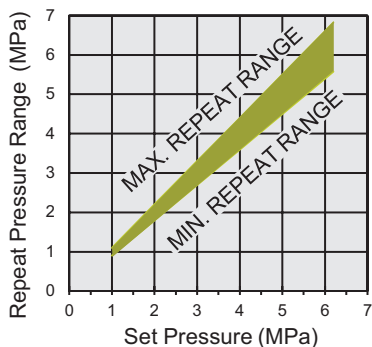


回路圧力制御用減圧バルブ

- 複動式と単動式の両方のシステムで使用可能。
- 直動ポペットタイプ、調整可能なカートリッジ構造。
- カートリッジはマニホールドに直接取り付け可能。
- 推奨設定範囲は 1 MPa (10 bar) ~ 6.2 MPa (62 bar)。
- 設定圧力の再現性は +/- 10%。
- 最大入口圧力は 20 MPa (200 bar)。
- 2ポート設計により、バイパスフロー (内部の漏れ) をシステムタンクに排出するための 3本目の流体ラインが不要。

動作：減圧バルブ (PRV) は、ノーマルオープン (N/O) の圧力制御装置です。バルブ内の圧力が (調整可能な) 設定圧力に到達するまで、バルブは開いた状態であり、流体が下流の装置 (バルブから装置) に流入します。設定圧力でバルブが閉じ、下流の装置への流体の流入と圧力上昇をブロックします。下流 (バルブから装置まで) の圧力が十分に低下すると、PRV が再び開き、圧力がバルブの設定値に到達するまで流体がバルブを通過します。PRV は、単動式と複動式の両方のシステムで使用できるように設計されています。

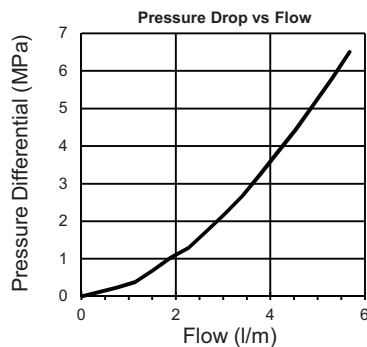
この図は設定圧力を基にした繰返し使用時の圧力範囲を表しています。



■ L7-0512-00
L7-0530-00

ILML705406 REV A

この表は減圧バルブとマニホールドを通った際の圧力損失を表しています。



ILML705405 REV A



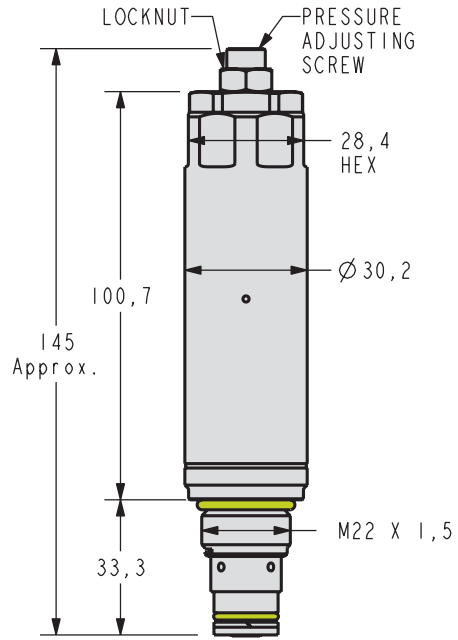
減圧カートリッジの寸法



減圧バルブカートリッジ

モデル番号 L7-0530-00

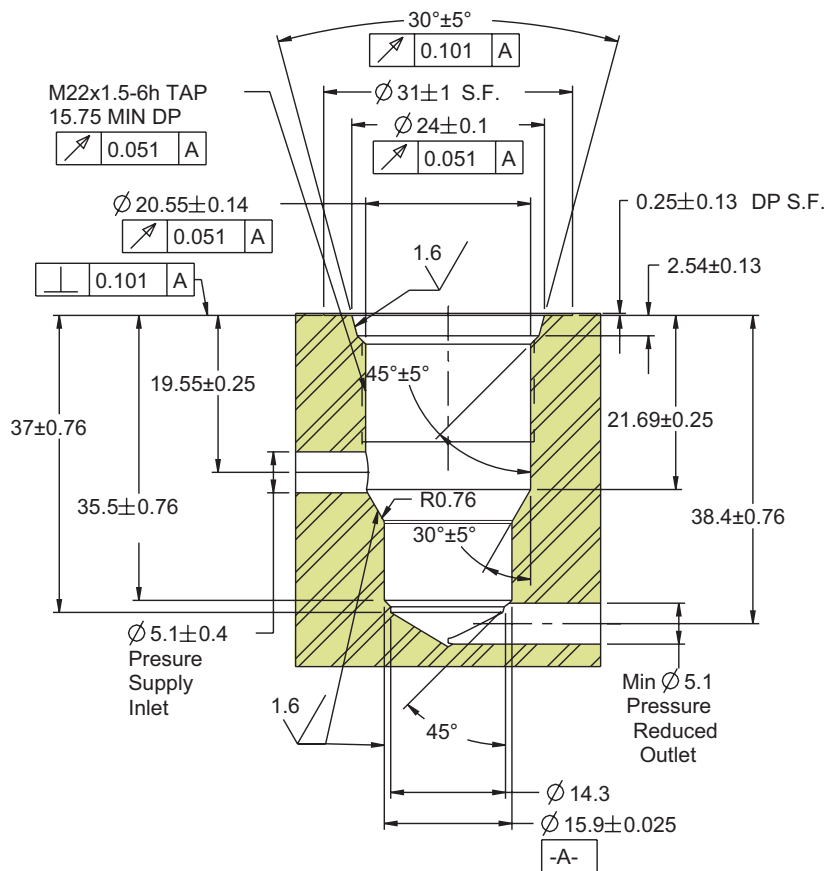
カートリッジのみ



7MPa Pressure Reducing Valve Cartridge

ILML70501 REV B

H-6



ILML70502 REV B

NOTE: For cavity tooling (multistep Reamer), order kit 62-7050-00.

